

**製品名: VPS35 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19834**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	92kDa

**抗原情報**

遺伝子名	VPS35
別名	Vacuolar protein sorting-associated protein 35 (hVPS35) (Maternal-embryonic 3) (Vesicle protein sorting 35)
遺伝子 ID	55737.0
SwissProt ID	Q96QK1
免疫原	VPS35 由来の合成ペプチド (アミノ酸範囲: 511-560)

**背景**

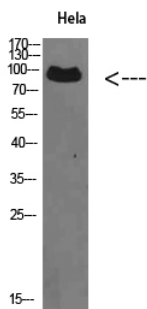
この遺伝子は、液胞タンパク質選別 (VPS) 遺伝子群に属する。コードされているタンパク質は、レトロマー複合体と呼ばれる巨大な

多量体複合体の構成要素であり、エンドソームからトランスゴルジ体ネットワークへのタンパク質の逆行輸送に関与する。この複合体を構成する酵母とヒトのタンパク質は構造的に非常に類似しており、機能も類似していることが示唆される。酵母細胞と哺乳類細胞における発現研究は、このタンパク質がレトロマー複合体の中核として機能する VPS35 と直接相互作用することを示している。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: リソソーム酵素受容体 (IGF2R および M6PR) をエンドソームからトランスゴルジ体ネットワークへ回収するために必要な複合体であるレトロマー複合体の必須構成要素。多量体免疫グロブリン受容体 (pIgR-pIgA) のトランスサイトシスの制御にも必要である。、類似性: VPS35 ファミリーに属する。、サブユニット: VPS26 (VPS26A または VPS26B)、VPS29、VPS35、SNX1、および SNX2 からなるレトロマー複合体の構成要素。VPS26A および VPS26B と直接相互作用する。XPO7、EIF4A1、ARHGAP1、VPS26A、VPS29、VPS35、および SFN との複合体中に認められる。、組織特異性: 普遍的に存在する。心臓、脳、胎盤、骨格筋、脾臓、胸腺、精巣、卵巣、小腸、腎臓、結腸で高発現する。、

## 研究分野

シグナル伝達、タンパク質輸送、小胞輸送、制御、ゴルジ体タンパク質

## 画像データ



VPS35 ポリクローナル抗体 (1:500 希釈) を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。